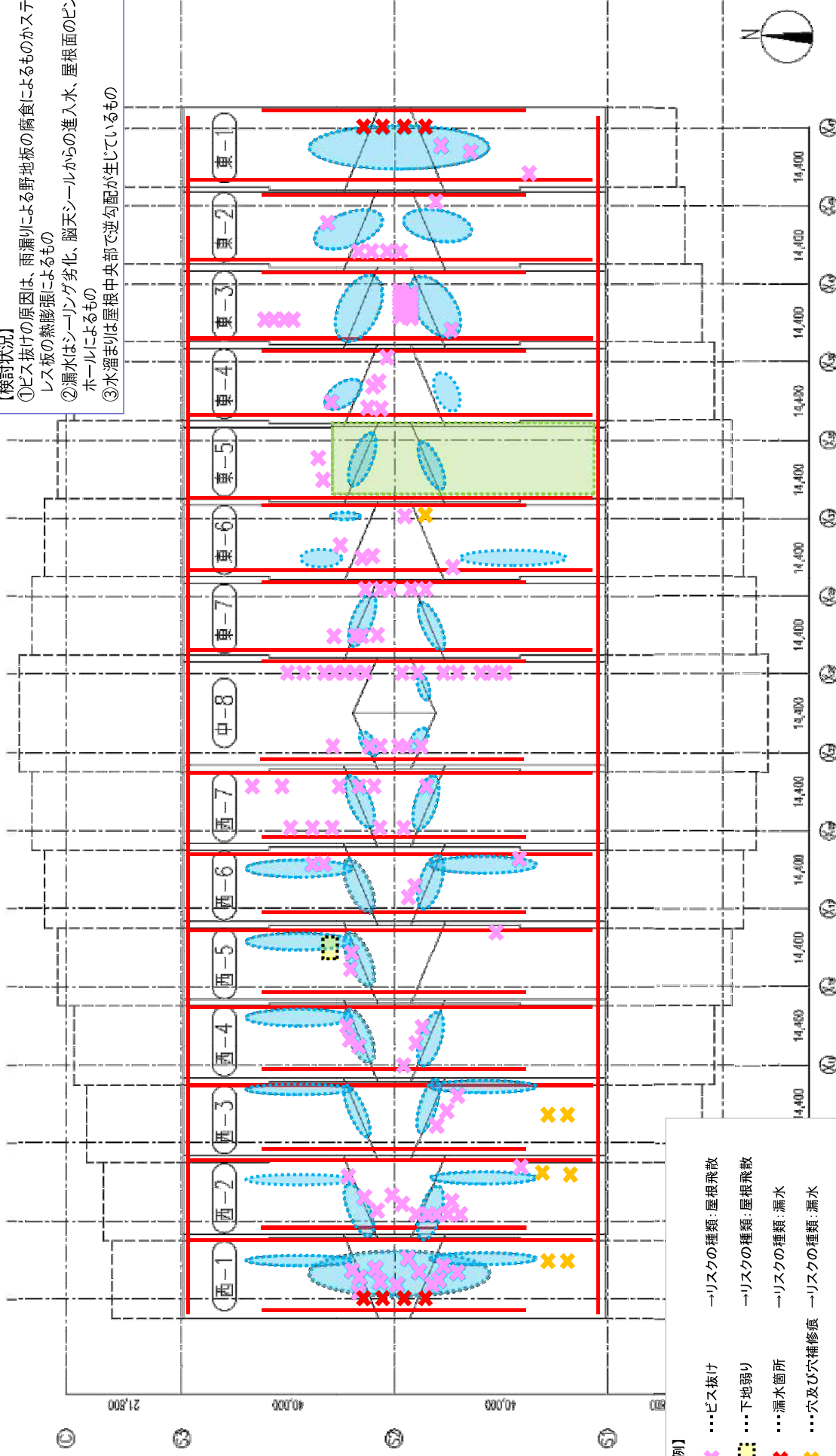


屋根伏図 (現状屋根調査結果)

資料 4 図面

屋根調査結果を下図に表記致します。

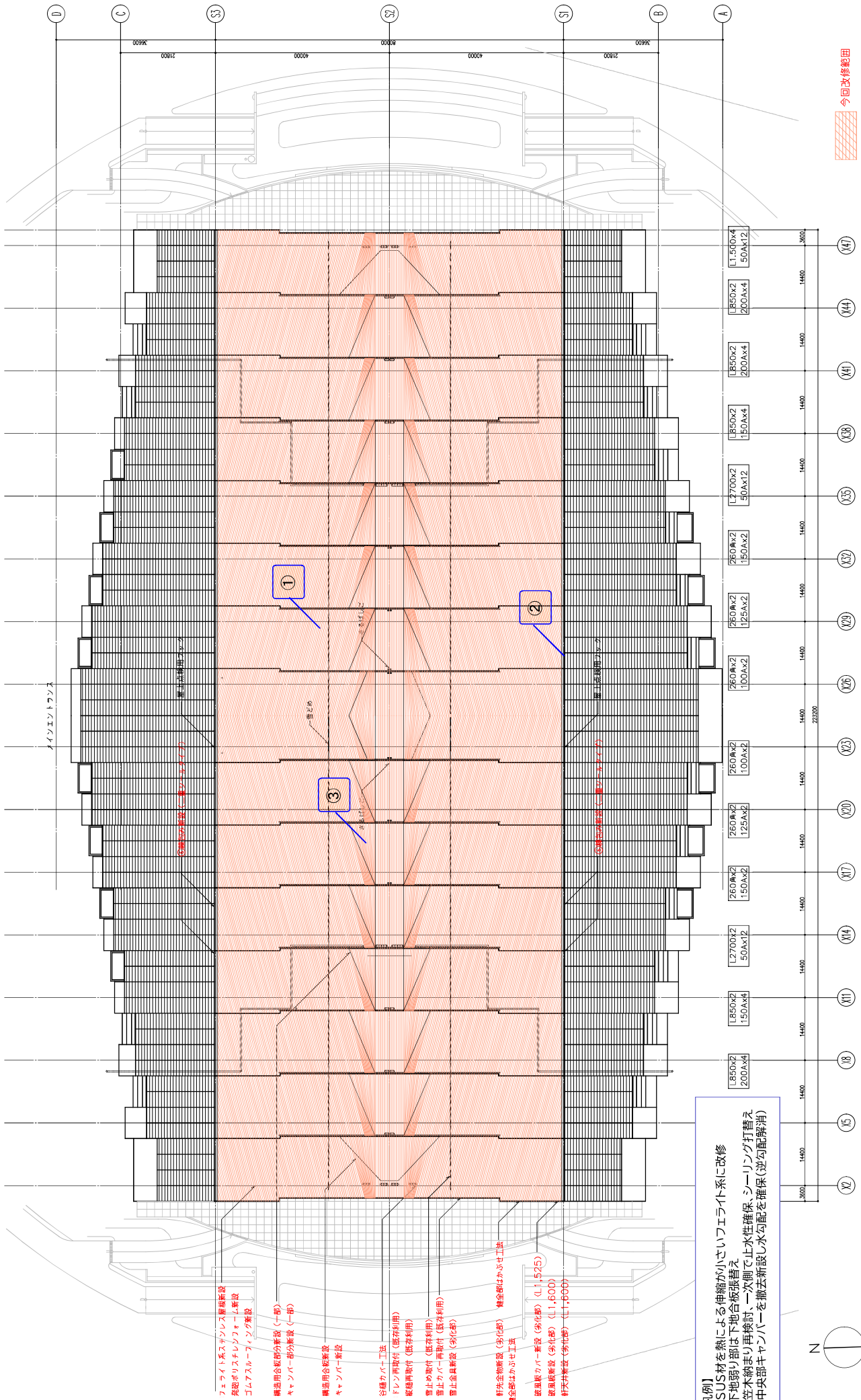
【検討状況】
 ①ビス抜けの原因は、雨漏りによる野地板の腐食によるものかステンレス板の熱膨張によるもの
 ②漏水はシーリング劣化、雨天シールからの進入水、屋根面のピンホールによるもの
 ③水溜まりは屋根中央部で逆勾配が生じているもの



- 【凡例】
- ✕ ・・・ビス抜け → リスクの種類：屋根飛散
 - ✕ ・・・下地弱り → リスクの種類：屋根飛散
 - ✕ ・・・漏水箇所 → リスクの種類：漏水
 - ✕ ・・・穴及び穴補修痕 → リスクの種類：漏水
 - ✕ ・・・取合シール劣化(雪止金物、パネル、サッシ)
 - ✕ ・・・水溜まり範囲
 - ✕ ・・・2020年改修範囲(撤去→新設)

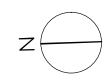


屋根状図 (改修計画図)



【凡例】
 ① SUS材を軸による串締が小さいフレライト系に改修
 ② 下地弱部は下地合流張替え
 ③ 窓木納まり再検討、一次側で止水性確保、シーリング打替え
 ④ 中央部キャンパネを撤去新設し水勾配を確保(逆勾配解消)

- フレライト系アスファルト屋根新設
- 発泡ポリスチレンフォーム新設
- ゴムアスルーフパズル新設
- 構造用合板新設 (一部)
- キャンパネ新設 (一部)
- 構造用合板新設
- キャンパネ新設
- 各種カバー工法
- フレイト再取付 (既存利用)
- 屋根再取付 (既存利用)
- 窓止め取付 (既存利用)
- 窓止カバー再取付 (既存利用)
- 窓止金属新設 (劣化部)
- 針先金物新設 (劣化部) 補全部はふせ工法
- 斜金部はふせ工法
- 取壊板カバー新設 (劣化部) (L1,525)
- 取壊板新設 (劣化部) (L1,600)
- 針天井新設 (劣化部) (L1,600)



今回改修範囲

仮設計画図

【検討状況】

- ①荷揚げクレーンを配置(クローラークレーン)
- ②妻面及び各屋根段差部に枠組み足場設置
- ③梁木改修用に吊り足場を設置

